

2024年12月期 第2四半期

# 決算説明資料

**GMO**ADPARTNERS

**1. 6/25発表の再編について**

**2. 第2四半期決算概要**

**3. 参考資料**

1. 6/25発表の再編について

2. 第2四半期決算概要

3. 参考資料

3

それでは続きまして、第2四半期の決算概要についてご説明をさせていただきます。

取扱高 1-6月累計

**154**億円

(前年比 ▲21.1%)

営業利益 1-6月累計

**▲1.2**億円

(前年差異 ▲1.99億円)

- ✓ 再編のアドバイザー費用**2.1億円**を計上。
- ✓ 取扱高は前年比減も、営業利益は粗利率向上とコスト抑制により再編費用を除くと計画通り。
- ✓ 下期でも再編関係費用が発生見通し。業績予想を修正。

まず決算状況についてのサマリーをお伝えさせていただきます。

取扱高に関しては1から6月の累計で前年比マイナス21.1%の154億円、営業利益については再編に関するアドバイザー費用2.1億円が計上されており、前年から1.99億減少し、マイナス1.2億円となりました。

一方で再編費用を除いた状態の営業利益は着実に回復をしておりますので、この後のご説明ではこの再編費用を除いた状態・含めた状態のものそれぞれご説明をさせていただきます。

## 第2四半期決算概要（再編費用を除く）

### コスト抑制により営業利益回復。

売上高は減少も、組織の効率化や各種費用の抑制などにより販管費もマイナスとなり、

再編費用を除いた営業利益ベースでは第2四半期累計で前年78百万に対し93百万と、前年対比でプラスの着地。

(百万円)	第2四半期（4-6月）			第2四半期累計（1-6月）		
	2023年 4-6月	2024年 4-6月	前年 同期比	2023年 1-6月	2024年 1-6月	前年 同期比
取扱高	9,133	7,183	78.6%	19,533	15,407	78.9%
売上高	3,877	3,083	79.5%	8,145	6,537	80.3%
売上原価	2,281	1,683	73.8%	4,703	3,612	76.8%
売上総利益	1,596	1,401	87.7%	3,442	2,925	85.0%
販管費	1,624	1,379	84.9%	3,363	2,832	84.2%
営業利益	▲28	22	-	78	93	118.3%
経常利益	5	38	755.6%	208	111	53.2%

第2四半期決算概要

5

こちらが、第2四半期の決算概要から、今回の再編に関連する費用を除外したものです。

足元の数値状況としては、前期の営業利益7,800万円に対し、今期が9300万円と、営業利益は回復しております。

売上高は減少をしておりますが、自社商材への注力による売上総利益率の増加と、組織の効率化や各種費用の抑制などにより販管費を削減できており、再編費用を除くと前年対比で営業利益ではプラスの着地となっております。

売上総利益率の増加要因と費用の状況についてはこの後のスライドでご説明させていただきます。

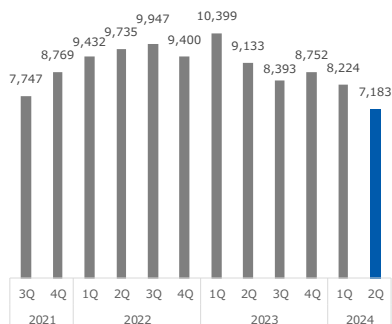
## 2024年第2四半期業績（推移・再編費用を除く）

### 取扱高は減少傾向も、営業利益は前年より継続して回復。

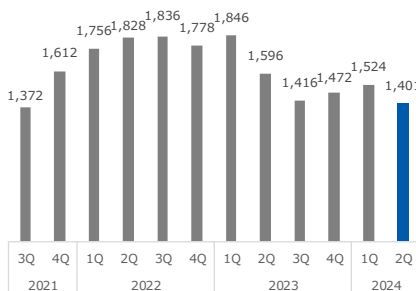
取扱高減少も、自社商材の成長による粗利率増加とコスト抑制により営業利益はYoY回復。

本年1月より実施していた組織再編・体制の見直しによる効果が出ており、下期でさらなる回復を図る。

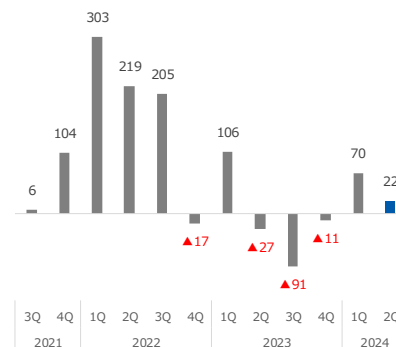
#### 取扱高



#### 売上総利益



#### 営業利益（再編費用除外）



こちらは先程のデータを四半期ごとの推移のグラフで表現したものです。

取扱高が前年より減少傾向にありますが、営業利益については回復傾向で推移をしております。

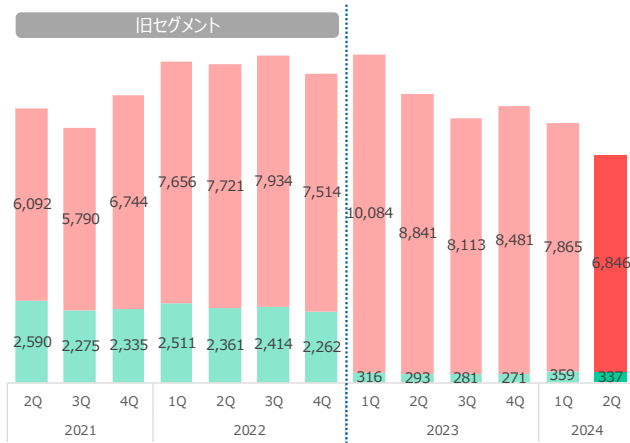
本年1月より実施をしております組織再編による効果が出ているものと認識をしております、下期以降さらなる回復を図ってまいります。

### インターネット広告事業は自社商材伸長により回復

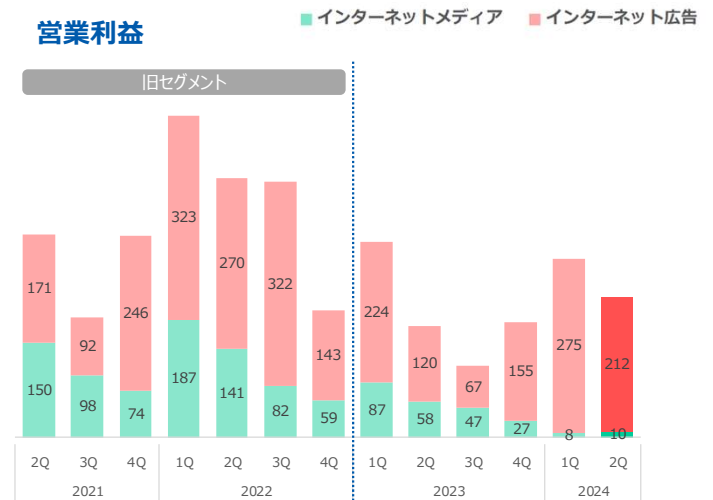
インターネット広告事業についてはGMO SSPの利益が増加し、取扱高は減少しているものの利益面では大きく回復。

インターネットメディア事業はmichill byGMOのアクセス数減少の影響が大きく、YoYマイナス。

取扱高



営業利益



※本ページではセグメントに含まれない「その他」の数値等を除いた数値を使用しており、当社発表の決算短信・有価証券報告書の数値と一致しないことがあります。

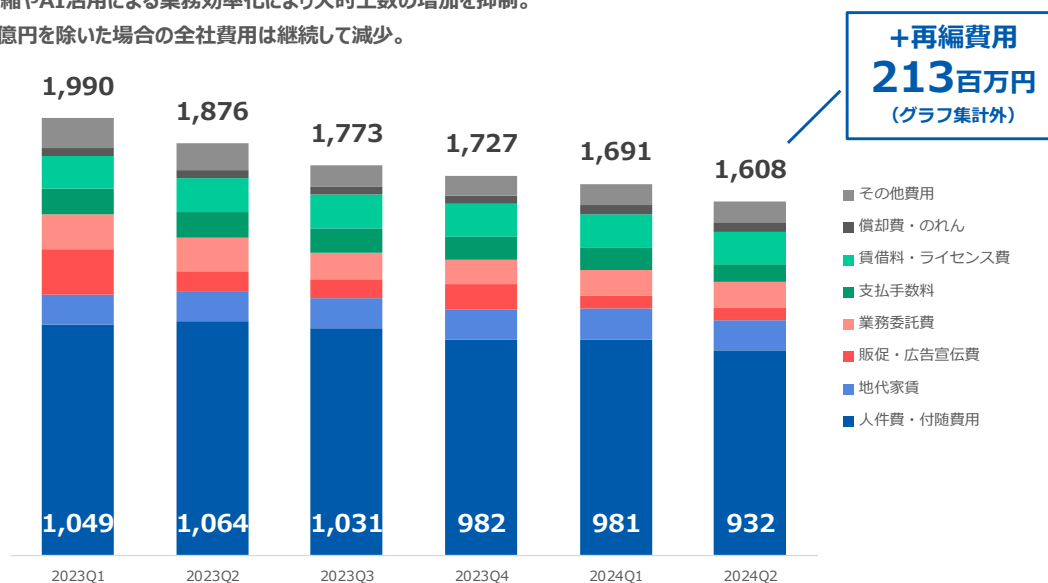
売上総利益率の増加要因について、セグメント別状況のグラフと併せてご説明させていただきます。

インターネット広告事業について、インターネット広告代理事業の取扱高減少に伴い、取扱高は減少してしまっておりますが、特に自社商材であるGMO SSPの利益が広告配信方法の見直しなどにより増加をしており、売上総利益率が改善をしています。

一方でインターネットメディア事業に関しては、michill byGMOのアクセス数減少による広告収入減少が前四半期より継続しており、YoYでマイナスの着地となっています。

## コストの抑制・効率化により収支のバランスを適正化

採用活動の圧縮やAI活用による業務効率化により人的工数の増加を抑制。  
再編費用2.1億円を除いた場合の全社費用は継続して減少。



※本集計における費用については、売上原価に含まれるものと販売費および一般管理費に含まれるものを合算して集計しております。

こちらは費用の状況です。

6月25日に発表した再編にかかわるアドバイザー等々の費用として、2.1億円を計上しておりますが、それを除いた定常的に発生する費用としては継続して減少しており、業務効率化により収支のバランスを適正化する取り組みが継続できている状態です。



### コスト抑制により営業利益回復も、再編コスト2.1億の影響大。

再編費用を除いた営業利益ではYoYでプラスの着地も、再編コストの影響により実績数字としては大きくマイナス。

下期にも若干の再編コストを計上見通し。

(百万円)	第2四半期 (4-6月)			第2四半期累計 (1-6月)		
	2023年 4-6月	2024年 4-6月	前年 同期比	2023年 1-6月	2024年 1-6月	前年 同期比
取扱高	9,133	7,183	78.6%	19,533	15,407	78.9%
売上高	3,877	3,083	79.5%	8,145	6,537	80.3%
売上原価	2,281	1,683	73.8%	4,703	3,612	76.8%
売上総利益	1,596	1,401	87.7%	3,442	2,925	85.0%
販管費	1,624	1,591	98.0%	3,363	3,045	90.5%
営業利益	▲28	▲191	-	78	▲120	-
経常利益	5	▲175	-	208	▲102	-

これまでご説明をさせて頂いておりました実績に、再編に関するアドバイザー費用である2.1億円を合算した第2四半期の決算がこちらです。

決算短信でお伝えさせて頂いた数字はこちらのものとなります。

ご覧の通り再編によるコストの影響が大きく、上期の着地としては赤字となっています。

下期にも若干の再編コストを計上見通しであり、今回、業績予想の修正をさせて頂きました。

## 2024年 業績予想の修正について

(百万円)	期初予想	修正予想	期初予想との差異
売上高	15,000	15,000	0
営業利益	400	100	▲300
経常利益	400	100	▲300
当期純利益	220	55	▲165

・再編関係費用の発生により、  
営業利益以下の予想を修正

・Q2計上済みの2.1億に加え、  
臨時株主総会費用やプライム上場  
に向けた体制強化費用など発生見通し

こちらが今回修正させて頂いた業績予想の修正の内容です。

下期にも臨時株主総会の開催費用や、プライム上場に向けた体制強化費用、アドバイザー費用などコストが発生する見通しとなっています。

については、営業利益から当期純利益までの箇所を、ご覧の通り修正をさせていただきました。

## 本資料取扱い上のご注意

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2024年8月8日現在のデータに基づいて作成されております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料に引用しております各社商標、著作物等知的財産権、並びに肖像権その他一切の権利は、当該知的財産権を有する各権利者並びにその権利の主体に帰属します。

**GMO** AD PARTNERS